

NTT

技術開発加速

NTTが人工知能(AI)技術の開発を加速する。グループ一体で取り組みを強化するため、AI技術の総称を「corevo(コレボ)」に統一。IoT(モノのインターネット)・ビッグデータ(大量データ)時代の見据え、外部企業との連携を加速しcorevoの開発と実用化を急ぐ。これにより高齢者の見守りやコールセンター支援など多様な分野で社会的な課題に対する解決力を高め、産業競争力の強化につなげる。

感情・心理

corevoは造語で、パートナー企業と革新を起こすという思いを込めた。技術領域は、人の発する情報が意図・感情を理解する「Agent-A」「Agent-I」や、人の心や身体の情報から心理を理解する「Heart-I」

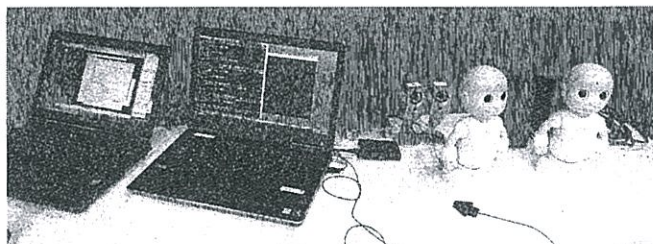
Touching-A「音声を認識する技術」など四つで構成する「インテリジェントマ

「インテリジェントマ

「インテリジェントマ

「Heart-I」最近では100%の

人とロボ 自然に会話



複数のロボットを使っ た雑談対話技術(NTTコミュニケーション科学基礎研究所の内覧会)

カーナビゲーションシステムへの適用を視野に入れる。

篠原副社長は次のス テップとして「ある人が場所を移動しても、その人の声だけを追隨できる技術を確認す る」と話す。

また訪日外国人の増 加に伴い、多言語化は

Agent-AIの開 発にとつて欠かせない 技術。今後、アジアを 中心に言語を増やすほ

か、日本語の方言にも 対応する。現在までに 大阪弁と九州弁を認識 できており、今後は北 海道や東北の方言も追 加する方針だ。

さらに声の抑揚を変 えることで、本人の声 色を変えずに話し方だ けを変える音声合成技 術も研究する。例えば 自分の声でしっかり話 せない障がいのある人 が、健常者のように抑 揚をつけて話すことが できるという。

雑談技術

人とロボットの自然

な会話を実現する雑談

「まだ幼稚園児 し、静止画が動いてい るようにみせる技術を 開発した。これを使え ば店頭の商品パッケー ジなどあらゆる物に動 きをつけられるとい う。広告やアート業界 での利用を想定する。

新しい価値

篠原副社長は「こ うした技術を使い、ど のように新しい価値を生 み出すかが重要だ」と 強調する。NTTグル ープだけでなくすべてを 作 る」とは思っておら ず、外部の技術も積極 的に導入する意向だ。

一方、Heart グループ内外の技術や Iは脳科学を通じた人 知見を融合させ、業務 代替や業務支援、高齢 者の支援など多様な分野 ける技術だ。具体的に 変革を促していく考 えだ。